

天地悠久



令和元年8月10日(土)開催の総会に出席された恩師、役員と幹事学年の皆さん



総会の様子



記念講演 (宮崎仁先生)



来賓あいさつ (大村知事)

同窓会総会延期について(ご案内)

例年、8月上旬に開催している同窓会総会を、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、延期せざるをえないと判断させていただきました。どうぞご理解くださいますようお願い致します。

なお、延期の時期は、現在のところ1年先送りと

し、令和3年8月上旬の開催を予定しております。また、幹事学年につきましても同様に、令和3年に高校33回生(昭和56年卒)、令和4年に高校34回生(昭和57年卒)のように1年ずつ先送りしていく予定です。

社会全体が先の見えづらい大変な時期ですが、どうか皆様もお体に気をつけてお過ごしください。

この件に関するお問い合わせ先

同窓会事務局長 新家正之 ☎0563-57-2270

● ごあいさつ ●

同窓会長 杉田 明 弘
(昭和45年卒)



西尾高校同窓生の皆様お変わりございませんでしょうか。西高生も102年目の年を元気にと言いたいところですが、新型コロナウイルスのため、自宅学習を余儀なくされているところです。(6月2日から通常授業が始まりました。)

さて、2月27日新型コロナウイルス警戒の中、同窓会入会式を無事終了し、357名の新しい仲間が増え35,000名近い会員数となりました。しかし翌日の卒業式は簡素化され、「仰げば尊し」「蛍の光」の斉唱もなく、卒業生にはさぞかし淋しい思いであったことでしょう。

同窓会入会式では、永平寺福山管主の言葉「流汗悟道」をお借りして、学んだ知識をもって次なる進路に臨み、さらに実践行動を通して社会に活躍していただきたいとお祈りしました。

そして、一昨年より18歳から選挙権が与えられたことを受け、経済・金融の窮地、地球環境、貧困格差・宗教紛争そして今回の新型コロナウイルスなどなど山積する問題も皆さんの将来に大きく関わることを認識して、必ずや選挙権を行使していただきたいことをお祈りしました。

会員の皆様へのお願いです。公益法人西尾高校同窓会奨学財団によって、オーストラリアへの語学研修に参加した25人と各学年2名計6人の奨学生を支援させていただきました。しかしながら、皆様からのご寄付集めに大変苦慮しております。税額控除が適応される寄付でございますので、法人の方はもちろんのこと、個人の方からのご支援も賜りますようお願い申し上げます。

最後に、会員の皆様にはくれぐれも新型コロナウイルスに罹患されませんように、健康にご留意ください。



体育大会の応援合戦

● 着任のごあいさつ ●

校長 鈴木 雅 文



教室棟の最上階からは、悠久の流れの矢作川、西三河の沃野、はるか遠くに御嶽山、中央アルプスの山並み。管理棟から南を見渡せば、西尾藩6万石の歴史と伝統を今に受け継ぐ西尾の市街地を一望できる、これまで3万5千名の有為な人材を世に送り出した本校に着任しまし

たことを、誠に光栄に思います。

その一方で、登録有形文化財に登録された本校の通用門(旧愛知県西尾中学校正門)を通り抜けるたびに、本校の伝統と同窓生の皆様のご活躍に思いを馳せ、身の引き締まる思いで一杯です。どうかご指導、ご鞭撻よろしくお祈りします。

さて、本校では「進取」「自主」「克己」の校訓のもと、生徒及び教職員が意欲的に教育活動に取り組んでおります。令和2年度の大学入試では、国公立大学合格者194名を数えたことなど、大きな結果を残しました。また、部活動では登山部女子が全国大会に出場したり、陸上競技部、卓球部は東海大会に駒を進めたりしました。文化部においてもダンス部が東海大会に出場し、演劇部、吹奏楽部も県大会に出場して活動の成果を発揮しました。

生徒はまさに文武両道を体現する活躍をしていますが、これは同窓会員の皆様の日頃からの物心両面にわたるご支援の賜と存じます。皆様のご厚情に深く感謝いたしますとともに、在校生の今年度の活躍をご期待いただきますようお願いいたします。

最後になりますが、今回から同窓会報はホームページ掲載となりました。ご不便をおかけする向きもあろうかと思いますが、どうか西高同窓会ホームページを「お気に入り」に登録し、たびたび訪れていただくことで、日頃の同窓会活動の様子をご承知いただければ幸いです。



修学旅行(長崎・ハウステンボス)

〔活躍同窓生〕

で ぐち っよし
出口 毅 さん

昭和63年卒 (40回生)

(有)媽媽や社長

西三河を中心に愛知県内にアジアレストランを11店舗、海外(バリと台北)にも3店舗を展開中

★どのような高校生活を送っていらっしゃいましたか。

高校時代は少しヤンチャで先生に迷惑をかけていた生徒でした。でも、その3年間は自分は将来何がしたいのか、どんな仕事が向いているのかを考えるととても大切な時間でした。2年生の終わり頃には自分は何か起業したいと考えるようになり、何にでも興味を持って過ごすようになりました。西高で知り合った友人たちがそれぞれの夢に向かって頑張っていたので、自分も頑張らなければという負けん気の強い生徒でした。

★米国へ渡ったきっかけ、いきさつを教えてください。

漠然とアメリカで何かを見つけないかという気持ちがありました。アルバイトで貯めた30万円で米国ロサンゼルスに片道チケットを購入して、単身渡米しました。その頃は若さもあって何にでもチャレンジしたい、経験したいという気持ちが強かったと思います。

★その米国での経験と、米国という国の印象を教えてください。

元々自分がチャレンジしたいと考えていた貿易の仕事を探しながら、まず住込みでご飯を食べられる日本人経営のすし屋で1年くらい働きました。幸いロサンゼルスロスの小さな日系の貿易会社を見つける事ができ、貿易の仕事を経験することができました。米国はとても自由で可能性のある国ですが、その反面個人の責任もある国という印象です。

★帰国後にアジア料理に目を向けたきっかけは何ですか。

その頃は急激に国際化が進んでおり、特に日本人の多くがアジア圏に観光に行く状況の中、アジア料理がだんだん身近に感じられつつある状況だったのがきっかけです。

★「媽媽や」創業とその命名に込めた意味、ならびに現状はどのようなですか。

媽媽(まま)は中国語で「母さん」という意味で、中国料理中心のアジア料理の店を始めたいと思い「媽媽や」と決めました。アジアを何度か巡り、その人口の多さとエネルギッシュな人々に魅了されていたかも知れません。

★「媽媽や」が今後目指すものは何ですか。

米国で僕が見た人々に愛される飲食店は、日本のようにメガフランチャイズ店はあまりなく、地域に溶け込んだ名店が多くありました。媽媽やもそのような飲食店でありたいと思っています。グローバルな展開も視野に入れながら地域に根差すことを目標としています。

★最後に西高生へのメッセージをお願いします。

シンプルですが、自分の適性を見つめながら可能性を信じて「努力」する事です。僕は多くの失敗をしてきましたが、失敗する度に成長していると実感しています。二歩進んで一歩下がるの連続です。人生は一度。思い切り生きてほしいと思います。

会員からのたより

西尾市吉良町 石川(倉知) 招三 (S34年卒)

卒業して61年が過ぎました。平和な世の中が続き、感謝しています。現在は、西尾文化協会の歴史愛好会に所属し、月1回の例会で仲間たちと楽しいひとときを過ごしています。最近では、市内の神社、寺院などを現地に行き見学し、地域の歴史を再認識する活動もしています。

西尾市刈宿町 倉内(森) 紀雄 (S34年卒)

強烈な説教で有名な数学の松本(キチマツ)先生曰く「足利尊氏が三河の吉良、今川の士で幕府を開いた。今度は徳川家康が優れた武士をこぞって江戸に連れて行った。君たちはその残り粕だからしっかり勉強しろ。」この「屑粕論」は奥深く、他の地方の人に紹介するとうけ

ますよ。

安城市野寺町 都築(鈴木) 勝 (S41年卒)

西高文芸部の思い出 それは私自身の青春の3年間であった。顧問の先生、先輩、同級生、後輩に恵まれ、文芸雑誌「ガラクタ」の発行、皆でのハイキング、その他人間形成に必要な積極性を醸成させてくれた。それは72歳になった今も生きていて、感謝している。昨今の希薄になっている人間関係もこうした部活によって良化することを信ずるものである。

西尾市吉良町 鈴木雅治 (S43年卒)

私の第2ステージは、家業のかたわら始めた油絵でした。昨年古希を迎えましたが、絵の取材を兼ねた夫婦二人での国内外の旅、展覧会、そして絵の仲間との交流を楽しんでおります。まずは健康第一で、体力・気力ともに充実させて行くことが、何よりも大切であると思っています。

西尾市南中根町 石田啓介 (S44年卒)

「勉強せん奴は税金ドロボーだぞ！」とは昭和の名物ディーン氏の言葉。痛いところを見事に突かれ、半世紀経っても未だに心に残る。大泥棒だったその反省を含め、何とか改心を重ね、人並みに納税も欠かさずここまで来られた。古き良き西高だったと思う度、感謝と恭敬は今日も変わらない。

西尾市伊藤町 加藤則夫 (S47年卒)

母親の介護で我が家も非常事態宣言発令中ですが、その中で、近場の散歩や庭の手入れをして、草花の季節の移ろいに癒やされています。また、最近、マルチトラックレコーダーや新たに楽器を買って、ムービーメーカーで多重演奏動画を作ることを始めました。西高在学中、体育館で行った卒業を祝う会で3人組のバンドで歌ったことを思い出します。時折、フェイスブックにアップしていますので、興味のある方は是非ご覧ください。

西尾市平坂町 犬塚久代 (S50年卒)

10年くらい前から西尾で細々と税理士の仕事をしています。昨年の春、ボケ防止と老後の楽しみにと落語教室に通い始め、日々、記憶力の悪さと闘いながら、ついに1月に高座デビューしました。終わった瞬間の達成感と反省から次回の演目の練習をしながら仕事する毎日です。

安城市東明町 三浦陽市 (S50年卒)

月に一度、特養老人ホームで「歌と寸劇のふれあいコンサート」を大学時代の演研の仲間と行っています。当初は入所者の様子がかめず不安な訪問でしたが、回数を重ねるにつれて絆が深まったり逆に私たちが励まされたり、訪問でのふれあいが生きがいになってきました。

西尾市鶴舞町 小笠原啓介 (S50年卒)

西尾市で建材屋を営んでいます。コロナに負けずに同年会をやろうと、鈴木会長やクラス幹事で盛り上がり、10月頃に開催する予定でしたが、安全を考えて残念ながら延期することと致しました。S50年卒の皆さん、コロナが収束して開催できることになりましたら、是非、参加ください。

東京都練馬区 加藤雅彦 (S52年卒)

演劇とともにあった3年間でした。大学は広く演劇を学び、就職してTVカメラマンに。27歳で当時黎明期にあったケーブルテレビの世界に飛び込み、そのまま今日に至ります。西高での質の高い時間が今も私の原動力となっています。いい学校を卒業したことを幸せに思います。

名古屋市中区 松田茂樹 (S55年卒)

中途半端な自分を許すことができず、堅い職業に就き

ました。公認会計士として、人様に会計規則を守るようにと、社会正義を説いています。偉そうに。礎は高校時代があってこそ。無責任な自由を謳歌する高校生を、許す懐の深さが尊い。琴柱に膠して瑟を鼓すことなかれ。

西尾市花蔵寺町 三浦(服部)玉恵 (S60年卒)

卒業からあつという間の35年。今でも西尾高校は身近な存在です。4年前、友の死をきっかけに、同級生の縁を大切にしようと思い、SNSで繋がった100名以上の友に声をかけ、毎年同窓会をしています。健康で会えることに感謝し、今後も会の開催継続をしていきます。

西尾市平坂町 中村禎吾 (H元年卒)

高校時代は、剣道部に所属し厳しい練習に耐えていた日々が懐かしく思い出されます。剣道部の仲間と気の合う同級生で卒業以来忘年会は毎年欠かさず行っています。西高同級生のゴルフコンペも年に4回、15年目に突入。高校時代の良き友に恵まれて幸せな今日この頃です。

米国シアトル市 渡辺寿美 (H3年卒)

東京の勤務先を辞めてニューヨークへ向かったのが1998年。国際結婚を経て、今はシアトル近郊の公立高校に勤務しています。高校生だけでなく、一緒に働く同僚達も私の語る日本の学校生活や日本食、「かわいいもの」の話が大好き。自分が日本人であることが有難い毎日です。

額田郡幸田町 宮川 孟 (H19年卒)

高校で英語の教師をしています。西尾高校での授業、放課、部活動、行事…全てが楽しくて、「これを一生の仕事にできたらどんなに幸せだろう」と思い教員になりました。教師として経験を積み、いつか母校の後輩たちと2回目の「西高ライフ」を送ることが、現在の夢です。

名古屋市瑞穂区 中村(本多)愛 (H23年卒)

高校卒業後、生物学を学びたいと農学部へ進学。気がつくと、高校教員の道を歩み始めています。また、ご縁あって母校のハンドボール部の指導に携わらせていただきました。これから長い教員人生ですが、多くの方のご縁を大切に、日々精進していこうと思います。

東京都品川区 太田靖子 (H24年卒)

高校は新聞部、大学は映像学部…と、広告やメディア、アートに触れた学生時代を経て、東京の広告代理店に就職しました。営業として5年目、つらいことも多いですが、さまざまな職種の人と関わって、幅広い見方、考え方を学ぶことができています。西高時代の仲間と再会することもあり、東京での生活を楽しくしています。

令和2年度入試概況

進路指導主事 加古邦博

令和2年度入試を振り返って

令和2年度大学入試センター試験は、1月18日(土)、19日(日)両日に実施されました。本校は352名が、愛知教育大学と愛教大附属高校の2会場で受験しました。本校生徒の平均点は、文系が571点、理系が581点で、数学難化の影響を受けて特に文系には厳しい結果となりました。

また、次年度より「大学入学共通テスト」が導入されることへの漠然とした不安などもあり、安全・地元志向はますます強まり、私大への延べ出願数が前年よりも500以上増え、3年前の約1.5倍にまで増加したことが特徴的でした。

そうした状況の中でも、着実に力を蓄え、果敢に挑戦をすることで、京都大学1名、名古屋大学25名をはじめ、北海道大学、大阪大学、神戸大学、金沢大学などの

難関国立大学を含めて、合計で194名もの国公立大学合格者がでるなど、生徒諸君はよく健闘したと思います。

先述した通り、本年度から、大学入学共通テストが始まります。英語外部資格検定試験の共通テストでの活用と、国語・数学の記述式問題の出題が見送られたことで、大卒は現行のセンター試験と変わらないことになりました。ただし、共通テスト導入に向けて実施された試行調査の問題を見ると、「思考力」や「判断力」への評価を重視した長い問題文や、複数の文章や図、グラフなどを総合的に考察する出題が見られました。このような状況の中、入試に向けて必要なことは、これまで以上に高校での学習に主体的に取り組み、本物の学力を身に付けることです。生徒達の夢が叶えられるよう、しっかりと応援していきたいと思います。

★★★★★★★★ 令和2年・平成31年度大学別合格者数 ★★★★★★★★

国公立大学			
大学名	2年度		31年度
	新卒	旧卒	
北海道	1		1
室蘭工業	1		
弘前			1
岩手			1
東北			1
茨城			1
筑波	1		
千葉		1	5
電気通信	1	1	
東京			1
東京学芸	1		
東京工業			1
東京海洋			1
東京農工	1		1
横浜国立	1		
新潟	1		
富山	4		5
金沢	5	1	9
福井	4		3
山梨			1
信州	1	1	4
静岡	15	1	14
愛知	17	1	16
名古屋	23	2	28
名古屋工業	6	1	9
岐阜	18	3	12
三重	15	2	8
滋賀	3		4
京都		1	
大阪	1		1
大阪教育		1	
神戸	2		
奈良女子			3
和歌山	1		

鳥取	1		2
岡山			1
広島	3	1	2
山口			1
香川	1		2
高知	2	1	
長崎		1	
大分	1		
宮崎		1	1
琉球		1	1
国立大学合計	131	21	141
高崎経済	1		1
東京都立	1		1
横浜市立	1		1
富山県立	1	1	2
石川県立	1		
福井県立	3		2
敦賀市立看護			1
都留文科	3		
長野県立	2		
長野県立	1		
公立諏訪東京理科	1		
岐阜薬科			1
静岡県立	1	1	
静岡文化芸術			4
愛知県立	6		8
愛知県立芸術	1		1
名古屋市立	5	1	3
三重県立看護	1		
滋賀県立		1	1
京都府立	1		
大阪市立			1
大阪府立	3		1
兵庫県立			1
奈良県立	1		
公立鳥取環境	1		
島根県立	1		

岡山県立			1
福岡県立	1		
名桜	1		
公立大学合計	38	4	30
国公立大学合計	169	25	171

私立大学			
大学名	2年度		31年度
	新卒	旧卒	
青山学院			4
慶應義塾			1
中央	13	1	1
東京理科	5		4
法政		3	1
明治	3	1	4
上智	1		
早稲田	4		1
愛知	161	12	159
愛知学院	48	1	46
愛知医科			6
愛知工業	69	12	82
愛知淑徳	44	4	25
金城学院	18	1	34
椋山学園	47		60
中京	62	10	37
中部	27	5	24
豊田工業	6		3
藤田医科	22	5	16
南山	104	17	95
名城	154	25	164
同志社	11	3	27
立命館	35	18	18
関西		1	4
関西学院	2	1	3
その他の私立大学	251	35	212
私立大学合計	1087	155	1031

部活動報告 [令和元年度]

◆全国大会出場◆

全国高等学校総合体育大会 (宮崎県)

【登山部】女子の部 出場

◆東海大会以上出場◆

東海高等学校新人陸上競技選手権大会 (愛知県)

【陸上競技部】女子三段跳 6位 本多柚稀

中部日本卓球選手権大会 (三重県)

【卓球部】ジュニア女子シングルス本戦出場 伴 咲穂

◆県大会成績(入賞等)◆

愛知県高等学校総合体育大会

【登山部】女子の部 優勝

愛知県高等学校新人体育大会

【陸上競技部】女子三段跳 5位 本多柚稀

【登山部】女子の部 優勝

【水泳部】女子200m個人メドレー 6位 中川結衣

その他の大会

【サッカー部】

全国高校サッカー選手権大会愛知県大会 ベスト16

全国高等学校総合体育大会愛知県大会 ベスト16

【演劇部】

第72回中部日本高等学校演劇連盟愛知県大会 奨励賞

◆その他の顕著な成績◆

【ダンス部】

東海ダンスドリル秋季競技大会 高等学校の部

ヒップホップ部門 女子ラージ編成 2位

※愛知県高等学校総合体育大会県大会出場

【陸上競技部】【体操部】【水泳部】【弓道部】【柔道部】

【剣道部】【サッカー部】【バドミントン部】

【卓球部】【ソフトテニス部】

※愛知県高等学校総合文化祭出場

【美術部】

【あの先生は、今】

あがた やす じ
縣 靖 治 先生



今年予定されていた同窓会総会の担当幹事学年(第33回卒業生)が、当時お世話になった縣先生にインタビューしました。縣靖治先生は、昭和51年4月から9年間、保健体育の教員として西尾高校に在籍されました。

《現在の先生は?》

定年退職後、5年間、中部大学第一高校の教頭として、教育・体育にかかわってききましたが、平成31年3月に退職して現在は、スポーツジムに通ってからだを鍛えたり、教え子たちとゴルフに行っからだを動かして楽しんでいます。何よりも孫と遊ぶことが1番の楽しみです。

《西尾高校での思い出は?》

体育教師として、陸上部の顧問として、生徒と一緒にからだを動かし、わいわいと楽しく過ごしました。ただ単に生徒に教えるだけではなく、どうしたら楽しくできるのか…を考えて。生徒が楽しんでいると自然に自分も楽しくなって毎日が楽しくなる。この基本を作ってくれたのが、西高での9年間でした。

《在学中の西高生へのメッセージ》

夢は大きく、はばたいてほしいです。常に先をみて、先を恐れず、目標に向かってください。目先だけではなく、もう一歩先をみて進んでほしいと思います。

大学時代のことです。陸上の長距離で必死に練習して、EブロックからAブロックにいきなりあがったのですが、日々の練習に精一杯で、余裕がなく、大会当日に疲れが残っていていい成績を残せなかった…という悔しい経験をしました。自分の体調をコントロールして、疲れた時は休み、ストレッチをし、体力を回復させてベストな状態で試合に臨むことは大事なことです。勉強や人生においても同様のことが言えるのではと思います。ひとつ先のことをみている人には余裕がありますが、目のことだけに捉われていると疲れてしまいます。そして対応策が見つからなければいろいろな人の意見や話を聞き、人と人との繋がりを大切にすることも大事なことでと思います。その繋がりは、生涯の財産となります。

※取材後の感想

「みんなから若いって言われるけど、若い生徒のエネルギーをたくさんもらって毎日楽しく過ごして、からだを動かしていることが若さの秘訣かな!？」と話していた縣先生の笑顔は、新任でいた20代のころのままでした。



平成30年度 西尾高等学校同窓会会計報告

自 平成30年8月 1日
至 令和元年7月31日

1 経常費 (収入) (単位:円)

科目	金額	備考
前年度繰越金	3,427,777	
卒業生入会金	1,740,000	5,000円×348名
雑収入	100,026	預り金・利息等
計	5,267,803	

(支出) (単位:円)

科目	金額	備考
会議費	226,736	同窓会総会、理事幹事会諸費用
学校行事支援費	119,768	文化講演会、体感ウォーク、卒業式
同窓会関連事業費	478,728	記念碑板設置工事、ターボリン横断幕
部活動支援費・報償費	367,178	部活動激励費、同窓会賞、横断幕
広報費	144,699	西尾高校だより、ホームページ
事務費・旅費・慶弔費	381,732	通信費、豪州研修視察旅費
計	1,718,841	
	3,548,962	

2 維持会費 (収入) (単位:円)

科目	金額	備考
前年度繰越金	11,920,920	
100周年用事業費返還	4,000,000	
雑収入	146	利息
計	15,921,066	

(支出) (単位:円)

科目	金額	備考
同窓会報費	3,201,348	
周年事業会計報告費	314,559	
編集委員会諸費	20,000	
計	3,535,907	
(差引残額)	12,385,159	円

3 周年事業会計 (収入) (単位:円)

科目	金額	備考
前年度繰越金	254,412	
西尾高校100周年謝恩会残金	31,250	
「西高の歴史へ」寄付金	6,477,133	うち利息42円
計	6,762,795	

※「西高の歴史へ」は100周年事業の残務処理後、奨学財団に入ります。

(支出) (単位:円)

科目	金額	備考
2階廊下フィルム貼り工事	68,000	「悠久の祈り」像設置
センサーライトなど購入費	8,737	「悠久の祈り」像設置
計	76,737	
(差引残額)	6,686,058	円

公益財団法人県立西尾高等学校同窓会奨学財団

平成30年度 収支決算書

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

(単位:円)

【収入の部】	
繰入金	612,464
寄附金	13,047,000
受取利息	98
収入の部合計	13,659,562
【支出の部】	
修学奨学金	1,040,000
海外派遣助成金	999,764
給与手当	600,000
証明書発行費	22,464
支払手数料	11,232
管理費	54,000
支出の部合計	2,727,460
【収支差額】	10,932,102
当期収支差額	10,932,102

*この収支決算書は単年度決算の数字です。
引き続き、奨学財団へのご寄附をお願いいたします。
なお、納入方法に関しては同窓会HPをご覧ください。

オーストラリア語学研修に参加して
(令和元年8月17日~27日)

鳥山 来 瞳 (3年生)

昨年から開始したオーストラリア語学研修につきまして、同窓会の皆様をはじめ、多くの先生方の温かいご支援、ご協力に深くお礼申し上げます。

私たち25名は、それぞれ目標、目的を持ちこの語学研修に臨みました。私は、異文化理解の姿勢を身につけ、物事をよりグローバルな視点から考えたいという思いで参加しました。この間、ホームステイやナランガバレー州立高校(プリズベン)での授業や交流を通して様々な背景を持つ人々に出会い、たくさんの良い刺激を受けました。

私がこの研修の中で感じた日本との大きな違いは、多文化を尊重する姿勢と自己主張についてです。多民族国家であるオーストラリアは、言語や文化が違うことを前提にどのようにしたら一つの国としてまとまっていけるのかということに焦点を当てていました。また自己主張に関しても、生徒は、授業で質問や思ったことを進んで発表していて、日本以上に参加型の授業が行われていました。

今後の日本の社会においてグローバル化はますます加速し、世界中の人々と一緒に仕事をする機会が増えると思います。私は、この研修で培った多様性を受け入れる姿勢と自分の意見に自信を持つことを大切に、積極的に海外事情を学び、海外を拠点としたボランティア活動にも参加していきたいと思っています。



ナランガバレー州立高校にて

「第12回名鉄西尾・蒲郡線 体感ウォーク」のご案内

名鉄西尾・蒲郡線体感ウォークを下記の日程で予定しています。ご支援よろしくお祈いします。

- 1 日 時 令和2年11月12日(木) 8:30~16:30
 - 2 場 所 名鉄こどもの国駅から西尾市役所芝生広場
 - 3 参加者 1・2年生約720名、職員40名、保護者を
中心とした支援ボランティア約70名
- なお、今年の体感ウォークは雨のため中止しました。



西高吹奏楽部演奏会 「ハルコン」のご案内

3月20日(祝)に予定していたハルコンは、大変残念ながら新型コロナウイルス感染防止の観点から中止しました。次回は、令和3年3月21日(日)14時から西尾市文化会館で開催を予定しています。同窓生の皆様のお越しを心からお待ちしています。

「知性と感性を磨く 文化講演会」について

昨年、11月11日に本校体育館で開催しました。

講師には「リング」などの著書で知られるベストセラー作家の鈴木光司氏をお招きして、「次世代を担う若者たちへ<よりよく生きるための勇気と指針>」という演題で講演していただきました。

鈴木先生の恩師や親友、奥さんとの出会い、そして10年余にわたる子育て経験談を交え、示唆に富むお話をされました。ユーモアあふれる語り口に聴衆は魅了され、時がたつのを忘れる楽しい講演でした。

なお、今年度の「知性と感性を磨く文化講演会」は新型コロナウイルス感染防止等の観点から、中止します。



印刷した同窓会報の配布 今年度から同窓会報はHPのみの公開となります。しかし、同級会やOB・OG会等で同窓生がお集まりの際に限り、印刷した同窓会報をお配りいたします。ご希望される代表の方は会の名と必要部数を同窓会報事務局(0563-57-2270)までお知らせください。なお、印刷部数に限りがありますので、なくなり次第終了します。

同窓会専用ホームページ 同窓会からのお知らせや会員間の情報交換の充実を目的に、平成28年度から同窓会専用のホームページを開設しています。学年や部活動同窓会の情報提供、住所変更等の事務局への連絡にも活用できます。是非、ご覧ください。

<http://nishio-h-dousoukai.jp/>

編 集 後 記

同窓会報がHPのみの公開となったのを機に、題字を神谷光園さんをお願いしました。また新企画として、総会幹事学年による恩師へのインタビュー「あの先生は今」が始まりました。新型コロナで社会全体が大混乱です。一日でも早い収束を望みます。

【会報編集委員会委員一同】

西高同窓会報「天地悠久」第31号

発行日 令和2年7月20日
 発行 西尾高校同窓会報編集委員会
 〒445-0803 西尾市桜町奥新田2-2
 TEL (0563) 57-2270
 発行人 同窓会長 杉田明弘
 印刷所 (資) 三州印刷